

平成30年度 高井田苑事業報告

はじめに

高井田苑では、利用者一人ひとりが個人として尊重され、健康で安心・安全な生活を送ることのできるよう個別支援計画に基づいて、それぞれの個性を尊重した支援を行った。

また、グループホームの開設に伴い本苑から9名の利用者が移行できたことにより、居室が一人部屋となり、一人で過ごせる空間を確保することができた。今後はより快適な生活空間となるよう、居住スペースの見直しやバリアフリーに配慮した環境整備を図っていく。

また、本年度の特別強化事業として取り組んでいた新しい日中活動の場の開設に向けての検討については、ワーキングチームを立ち上げ、活動内容や人員、メンバー構成等について協議するとともに、施設見学や近隣施設の動向などの情報収集を行ってきた。

職住分離の実現を第一義として置きながら、単に日中の集団支援の解消を目指すのではなく、それぞれの利用者が活躍できる場となるよう、引き続き作業種目の選定や活動内容を吟味し具体化を図っていく。

本年度の退所者は2名で、お一人は自宅の近くで生活をさせたいという理由からの申し出ともうひと方については、高齢になり医療的なケアに要する時間が多くを占めるようになったため、ご本人にとってより良い生活の場を求めている退所で、このことは今後の施設入所支援の在り方を考えていく上での重い課題である。

I 利用者支援状況

1 利用者状況について

生活介護 (定員52名) 利用者数：46名(男性32名、女性14名)

施設入所支援 (定員40名) 利用者数：27名(男性18名、女性9名)

・生活介護の利用者の年齢は、27歳から65歳までの方が利用している。

平均年齢は男性の平均年齢：44.2歳、女性の平均年齢：47.4歳。

・施設入所支援の利用者の年齢は、29歳から65歳までの方が利用。

平均年齢は男性：43.9歳、女性：50.4歳。

(文末表1・表2参照)

2 日課(下記の日課を基本として支援を行った。)

(午 前)	(午 後)
6:30 起床・洗面	13:00 作業活動
7:30 朝食・歯磨き	14:30 作業活動終了
8:30 コーヒータイム	15:00 間食
9:30 朝のつどい(1日の流れを説明) ・散歩など個別活動 ・作業	16:00 入浴 整理・片付け 18:00 夕食・歯磨き 余暇時間・コーヒータイム
12:00 昼食・歯磨き	22:00 就寝

3 日中活動

従来からの生活班・軽作業班・リサイクル班・農耕班と従たる事業所である「すてっぷ」に加え、新たにベル班を設け駅周辺や街に出て清掃活動を中心に活動を行い、地元の方からも声をかけていただくなど理解を深めている。

また今年度より柏原市内にあるパナソニックサイクルテック様のご協力で、工場内に専用の回収箱を設置させていただき空き缶回収を行っている。

作業工賃は工賃規程に基づき毎月利用者に支払った。

年間(1人につき)：平均 約 26,000円

活動班別作業収益

作業班	生活	軽作業	リサイクル	農耕	ステップ	計
収 益	169,916	730,787	455,920	74,341	940,449	2,366,413

4 行 事

平成30年度の行事も、小集団での活動を基本とし行った。

日 時	行 事 内 容	参 加 者 数
5月14日(月)	招待行事 サーカス(和泉市)	8名
5月15日(火)	招待行事 サーカス(和泉市)	14名
6月29日(金)	KSRボウリング大会	11名
7月28日(土)	武田塾納涼祭	46名
8月1日(水)	花火を見る会 ひなた	高井田苑 武田塾 近隣
8月10日(金)	作業班慰労会	46名
8月25日(金)	夏祭り	38名
9月15日(日)	高井田苑祭	200名 11事業所
9月15日(日)	慰労懇親会	家族19名
9月22日(土)	日帰り旅行 神戸動物王国	4名
10月10日(土)	日帰り旅行 信太山キャンプ場	6名
10月13日(金)	親睦日帰り旅行 滋賀県	13名 家族18名
10月20日(土)	スポーツフェスタ2018大阪	3名
10月23日(火)	日帰り旅行 橿原市	1名
11月10日(土)	親睦日帰り旅行 滋賀県	7名 家族6名
11月18日(日)	柏原市ふれあい広場大会	13名
11月23日(金)	大掃除	27名 家族17名
11月24日(月)	創立祭	35名
11月30日(土)	すてっぷ一泊旅行 名古屋	11名
12月22日(土)	クリスマス会	28名
12月28日(金)	作業班慰労会	46名
2月22日(水)	KSR文化祭	11名
3月27日(水)	日帰り旅行 みさき公園	3名

5 自治会活動

利用者自治会の会議を月1回開催し、利用者から出た行事や食事に対する意見等を支援に反映させた。

6 健康管理

定期健康診断を年2回、歯科健診を年1回、インフルエンザの予防接種のほか、嘱託医・内科医、歯科医による往診を毎月定期的を実施した。本年度の疾病等による受診件数は255件で、昨年度の297件と比べると減少しているが、年齢や体力面等に配慮し引き続き健康管理に努めていく。

7 栄養管理

本年度より業者委託から直営提供に切り替えた。それに伴いできる限り利用者の希望に応えられる食事が提供できるように努めた。また四季折々の催事も意識し、ただ単に食事を摂るだけでなく楽しめる食事となるよう心がけている。

また管理栄養士による栄養マネジメントを行い、個々の栄養状態、身体状況を把握し、健康状態の維持、向上に努めた。

8 安全管理

平成30年9月14日と31年3月25日の2回、利用者、職員が参加し、避難訓練を実施した。

3月の避難訓練では、柏羽藤消防署員立ち合いで避難訓練を行うとともに、訓練後は消火器による消火訓練、心肺蘇生法及びAEDの実地講習を実施した。

9 家族会との連携

家族会定例会（偶数月の第4日曜日）に施設長が出席し、家族との意見交換をした。家族からの意見等を施設運営の参考とした。

II 職員体制

1 職員数

職名	施設長	サービス管理責任者	生活支援員	栄養士	夜勤専任支援員	医師	看護師	事務員	その他	合計
常勤	1	1	19	1			1	2		25
非常勤			10		2	1			1	14
計	1	1	29	1	2	1	1	2	1	29

2 会議の状況

会議名	開催頻度	
職員会議	月1回	全体会議
主任会議	随時	運営内容の検討と方向性の確認
リーダー会議	月1回	フロアでの活動状況の報告・伝達

フロア会議	月1回	支援方法の検討と情報の共有
ケース会議	月1回	小グループでの個別ケース検討
引き継ぎ	毎日	午前・午後の2回 状況の確認と情報の共有

3 研修

(1) 施設内研修

今年度も大阪府社会福祉協議会主催による大阪民間社会福祉事業振興基金の助成を受け、「アウトリーチ型研修」を行った。

今年度のテーマは「福祉施設における人材育成とは～グループワークを通じて実践する～」とし、関西福祉科学大学 小口将典准教授を講師に招き講義とグループワークを中心とした研修を3回行った。7法人10事業所の参加があった。

研修内容についてはテーマ・講師を高井田苑から提案した上で各施設の代表者が集まり、実施方法等について検討した。

研修終了後はアンケートを実施した。

また第三者委員をお願いしている岡井哲明氏に講師をお願いして研修全体研修を行った。

月 日	研修内容
10/26	これからの学びのために（研修の意義・必要性について）
11/23	福祉施設で働くということ

それ以降、毎月1回小グループに分かれ「PCAGIP（ピカジップ）」の手法を使った個別事例の検討を行っている。参加者が自由な意見や質問を積み重ねていく過程で、様々な視点から立体的に利用者をとらえることで、新たな気づきに繋げることができた。

(2) 施設外研修（支援の部）

日時	内容
8/21	サービス管理責任者等研修（全体研修）
9/5・10/1	サービス管理責任者等研修（地域）
9/27	全国社会福祉法人経営者大会（長野県）
9/27・28	サービス管理責任者等研修(介護)
12/15	大阪知的障害者サポート協会設立10周年記念講演 「グループホーム30年の歩みと障害者福祉の今」
2/22	障害者差別解消法と虐待防止法の施行後の現場とこれからの課題
3/14	障害のある犯罪行為者の理解と支援

年間継続研修

- 地域支援部会（グループホーム）
- 地域支援部会（短期入所）
- 障害者支援施設部会 幹事会
- 平成30年度大阪府強度行動障がい支援者養成研修 基礎研修・実践研修
- 柏原市自立支援協議会
- 柏原市
- 柏原作業所連絡会研修会

4 実習受け入れ状況

学 校 名 (実習目的)	期 間	日数	男	女
大阪医療福祉製菓専門学校 (社会福祉士相談援助実習)	平成30年 3月 5日～ 6月 8日	23日	1	
大阪大谷大学 (社会福祉士相談援助実習)	平成30年 6月 1日～ 6月28日	23日	1	
相愛大学 (介護等体験)	平成30年 6月 4日～ 6月 8日	5日		1
姫路大学 (介護等体験)	平成30年10月19日～10月26日	7日		1
龍谷大学 (介護等体験)	平成30年12月17日～12月21日	5日	1	
佛教大学 (介護等体験)	平成30年 1月14日～ 1月 18日	5日	1	
関西福祉科学大学 (介護等体験)	平成30年11月 5日～ 3月29日	5日 (40日)	3	5
東大阪大学 (保育実習)	平成31年 2月 5日～ 2月 15日	10日	1	
東大阪大学短期大学部 (保育実習)	平成31年 3月 4日～ 3月 15日	10日		1
計		128日	8	9

5 障害者虐待の居室確保事業

障害者虐待防止法に基づく緊急一時保護事業は、柏原市・羽曳野市・藤井寺市・松原市と委託契約を締結している。

本年度の保護は3名、延べ日数54日であった。

別紙

年齢別・支援区分別（表1）

区分	男性					女性				合計
	2	3	4	5	6	3	4	5	6	
25歳～29歳				1	1	1				3
30歳～39歳	1	1	2	2			2		1	9
40歳～49歳			3	10	10	1	1	1	4	30
50歳～59歳			1	1					1	3
60歳以上			1				1		2	4
合計			7	14	11	2	4	1	8	49

実施機関・活動内容別利用者数（表2）

	援護の実施機関	男	女	計	施設入所支援	共同生活援助	生活介護 (日中活動)
1	柏原市	14	4	18	6	12	16
2	羽曳野市	1		1	1		1
3	藤井寺市	2	1	3	2	1	2
4	八尾市	3	3	6	2	4	6
5	東大阪市	3	3	6	5	1	6
6	大東市	1	0	1	1	0	1
7	寝屋川市	2	0	2	1	1	2
8	守口市	0	1	1	1	0	1
9	茨木市	1	0	1	1	0	1
10	箕面市	0	1	1	1	0	1
11	高槻市	1	0	1	1	0	1
12	交野市	0	1	1	0	1	1
13	枚方市	0	1	1	1	0	1
14	堺市	2	0	2	1	1	2
15	泉大津市	1	0	1	1	0	1
16	太子町	1	0	1	1	0	1
17	大阪市	1	0	1	1	0	1
18	松原市	1	0	1	0	1	1
	合計	34	15	49	27	22	46

日中一時支援・短期入所事業報告

1 内容

事業認可	平成18年10月（障害者自立支援法に基づく認可）
一日最大宿泊利用人数	5名（男3名、女2名）
日中一時支援利用人数	5名
利用期間	障害者（児）受給者証に記載されている日数
担当職員	支援員を充当

2 基本方針

保護者、家族の傷病等や仕事の関係、利用者本人の状況から介護が困難となった場合、また、保護者等の精神的、身体的レスパイトが必要な場合に短期入所サービスを提供した。

3 基本の支援

利用者の個別状況に配慮しつつ基本的に入所利用者の日課に沿った支援を行った。

4 日中一時支援・短期入所サービス利用状況

平成30年度日中一時支援 利用日数																	
氏名	性別	市町村	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
A	男性	柏原市	6	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	18	
B	男性	柏原市	4								1	1				2	
				3	3	3	3	3	3	0	1	1	0	0	0	20	
平成30年度短期入所支援 利用日数																	
氏名	性別	市町村	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
A	女性	柏原市	4	2	4	2	4	4	5	4	2	3	0	0	0	30	
B	女性	柏原市	4	3	6	3	3	0	3	3	7	2	0	6	6	42	
C	男性	八尾市	6	3	3	3	3	3	3	3	3	0	0	3	3	30	
D	男性	藤井寺市	2	0	0	0	0	0	0	12	30	31	21	0	0	94	
E	男性	柏原市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	6	14	
				8	13	8	10	7	11	22	42	38	23	13	15	210	
障害支援区分別 延べ利用日数																	
支援区分			2	3	4	5	6										合計
短期入所			94	0	86	0	30										210
日中一時			0	0	2	0	18										20

なお、短期入所サービスを利用希望される方の中には、激しい物壊し、自傷・他害行為等があり、個別対応が必要であると判断される場合は、やむを得ず断ることもあった。

共同生活援助（ホームにじ）事業報告

I. 利用者支援の状況

1. 入居者の状況

定員 22名 平成31年3月31日現在 在籍 22名（男性16名、女性6名）

	性別	年齢	障害支援区分	実施機関	住居	日中活動
1	男性	43	4	柏原市	ホームにじ	高井田苑すてっぷ
2	男性	45	4	柏原市	ホームにじ	高井田苑
3	女性	40	3	柏原市	ホームにじ	高井田苑すてっぷ
4	女性	47	6	八尾市	ホームにじ	高井田苑
5	男性	51	4	柏原市	ホームそら	高井田苑
6	男性	27	5	八尾市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
7	女性	37	4	柏原市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
8	女性	53	6	八尾市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
9	男性	32	2	柏原市	ホームはれ	夢工房くるみ
10	男性	48	5	松原市	ホームはれ	高井田苑すてっぷ
11	女性	31	4	柏原市	ホームはれ	風の森
12	女性	28	3	交野市	ホームはれ	高井田苑すてっぷ
13	男性	48	4	柏原市	ひなた	高井田苑すてっぷ
14	男性	38	5	柏原市	ひなた	高井田苑
15	男性	61	4	柏原市	ひなた	高井田苑
16	男性	46	5	堺市	ひなた	高井田苑
17	男性	37	2	藤井寺市	ひなた	リーバス・オフィスサポート
18	男性	41	6	八尾市	ひなた2	高井田苑
19	男性	48	5	寝屋川市	ひなた2	高井田苑すてっぷ
20	男性	32	5	柏原市	ひなた2	高井田苑
21	男性	48	5	東大阪市	ひなた2	高井田苑
22	男性	44	5	柏原市	ひなた2	高井田苑

2. 健康管理

高井田苑の生活介護サービスを利用している利用者は高井田苑の他利用者とともに定期健康診断は年2回、歯科健診は年1回実施した。11月にインフルエンザの予防接種を行った。

他法人の日中サービスを利用している利用者はそれぞれの事業所の健康診断とインフルエンザの予防接種を行っている。

毎月1回体重測定を実施し、高井田苑看護職員や地域の医療機関と連携を取りながら、健康管理に努めた。

3. 栄養管理

夕食と休日の昼食はタイハイ株式会社のケアホームメニューを利用し、栄養計算された食事を提供している。

朝食は世話人を中心に購入した食材を調理して提供していたが、3月より生活支援員が中心に、買い物や大阪いずみ市民生活協同組合を活用して食材の調整を行う。食材の仕入れ方法の見直しに伴い、これまでの朝食メニューの見直しも行った。

4. 安全管理

各ホームには消防署への火災通報設備を設置、避難誘導灯、消火器を設置している。ひなたはスプリンクラーも設置している。

ホームにじ、ホームそら、ホームはれは11月にフジタカ防災設備に依頼し消防設備点検を行った。

年2回、火災を想定した避難訓練を実施した。

II. 職員体制

1. 職員数

職名	施設長	サービス 管理責任者	生活 支援員	世話人	事務員	合計
常勤	1(兼務)	1	2		3(兼務)	7
非常勤			2	25		27

2. 会議の運営

毎月ホームはれが第2火曜日、ホームにじが第3火曜日、ホームそら第4火曜日サービス管理責任者と生活支援員と世話人が参加し、9:30~11:00で世話人会議を開催。

ひなたは定期的な会議が行なえていないが、6月に開所してから2回世話人会議を行っている。

世話人会議では運営上課題となる事項や利用者支援に関わる事例を検討し、情報の共有を図った。

3. 研修

管理者による人権研修をひなたで2月に行う。

大阪知的障害者福祉協会の地域支援部会に4回サービス管理責任者と生活支援員が参加し、他事業所の運営方法や考え方などの情報を得る。

III. 余暇支援

1. 移動支援・行動援護サービスの利用

今年度よりホームにじ、ホームそら、ホームはれの利用者全員がさんぼーとの移動

支援、行動援護サービスを利用して休日の外出機会を持つことが出来るようになった。

ひなたの利用者も4名がさんぽーとの移動支援、行動援護サービスを利用して休日に外出をしている。うち2名はひなたに移行してからさんぽーとと契約している。

グループホーム全体で4名の利用者は他法人の移動支援サービス等を利用している。

2. 集まれグループホームへの参加

昨年度に続き大阪府障害児者生活サポート協会主催の集まれグループホームに、5名の利用者が生活支援員の引率で参加する。

3. じゃむの会、さえらの会に参加

地域生活支援センターさんねっとのじゃむの会、さえらの会にホームにじの利用者が不定期であるが参加し、地域にお住まいの当事者の方と交流を図る。

4. 12月にひなたの1階スペースでグループホーム全体行事としてクリスマス会を行う。

初めて全住居の利用者が1か所に集まるが、利用者は楽しく参加され、全体行事を増やしてほしいとの声も上がる。

IV. 短期入所事業

ひなたの建物内に短期入所事業用のスペースがあり、利用定員4名分の居室がある。短期入所事業は柏原市に指定申請を行い12月1日で指定を受け、契約希望者を随時受け付けている。

平成30年度 相談支援事業等事業報告

地域生活支援センター さんねっと

はじめに

柏原市相談支援センター運営事業等により、柏原市在住の障害のある方に対し、自立した生活が送れるよう相談を行うとともに、各種障害福祉サービス利用のための援助、調整を行った。

また、ご本人又はご家族からの依頼を受け、各種福祉サービスが円滑に受けられるよう、サービス等利用計画の作成及び適切に運用されるようモニタリングを行った。

その他、必要に応じて訪問やサービス担当者会議等、当事者を始め関係機関等との会議を行い、本人ならびにその家族の福祉の向上を図った。

1. 柏原市障害者支援センター運営事業

柏原市からの委託を受けている一般相談については、実数として125人(内サービス等利用計画契約者105人)、支援方法は電話での相談が最も多かったが、関係機関との調整が前年度と比べて大幅に件数増であった。延べ相談件数は2,200件あり、その中から新規の計画相談につながるケースもあった。平成29年度同様、障害別としては、知的障害方の相談を受けることが圧倒的に多かった。

また、ここ数年の特徴として、ご家族の不安解消やサービス利用の調整等に多くの時間を費やす必要のある利用者が多く見受けられた。

さらに、福祉サービスの利用については、柏原市をはじめ近隣市の事業所の開拓、利用調整並びに利用定着等、社会資源の開拓とサービスの向上に努めた。

(1) 相談支援を利用している障害者等の人数

29年度 127 5 1 102 17 2 0 0

	人数	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他
障害者	123	3	3	100	10	7	0	0
障害児	2	0	0	2	0	0	0	0
計	125	3	3	102	10	7	0	0

(2) 支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
	419	87	22	442	37	3	380	220	1,610

29年度 296 234 69 497 178 2 89 96 1,461

(3) 支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援
30年度	1,103	12	37	398	3	83	18

29年度 738 107 82 487 11 118 9

	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計

30年度	62	29	320	105	30	2,200
------	----	----	-----	-----	----	-------

29年度 141 135 400 3 7 2,238

2. 計画相談

登録者数	知的障害	身体障害	重症心身障害	精神障害	発達障害	合計
障害者	80	3	3	10	7	103
障害児	2	0	0	0	0	2
合計	82	3	3	10	7	105

29年度者	77	3	10	4	11	105
児	3	0	0	0	0	3
合計	80	3	10	4	11	108

計画作成・モニタリング件数

計画作成	126
モニタリング	270

29年度 計画 90
モニタリング 212

昨年度同様、計画相談の登録者も100人を超え、他市の事業所の利用も含めてサービス利用計画を実施している。計画件数、モニタリング件数とも大幅に増加しているが、計画はサービスの変更が多かったことが要因と思われる。モニタリング件数の増加については、平成30年4月に法改正があり、モニタリング頻度が6ヶ月から3ヶ月毎に実施できるようになったためである。

さらに計画相談を受ける中で、サービスの調整だけにとどまらず、生活全般に関わるが必要と思われる方もあり、そのため家庭訪問等をこまめに行うなど問題の改善に努めた。

昨年度からの引き続きで、高井田苑利用者の計画相談も受け入れており、今後地域での生活を希望されたときに円滑に進むよう、柏原市や近隣市の資源などの状況を把握し、必要に応じて情報提供できるよう努めた。

3. 当事者支援(余暇活動への支援、社会参加の促進等)

さんねっとの社会貢献事業としての当事者支援活動は、よりご本人たちが主体となって活動していくことを目的に、余暇支援、社会参加及び日常生活技術の習得等を目的に運営している。活動内容の決定については、総会という形でご本人たちが希望を発言できる場を提供している。

また、積極的にボランティアを受け入れることで、できるだけ多くの障害者に対して外出する機会を提供できるよう努めた。(当事者支援ボランティア延べ数24人)

じゃむの会

月日	場 所	参加人数	内 容
4月14日	サバーファーム	15	お花見
5月12日	四天王寺そば塾	12	そば打ち体験
6月9日	八尾ボウリングアロー	18	ボウリング
7月14日	ひなた3階	12	上映会
8月11日	A-Style	17	カラオケ
9月15日	高井田苑	13	高井田苑祭参加
10月13日	阿倍野防災センター	5	防災体験

11月10日	横政農園	13	みかん狩り
12月8日	ひなた3階	15	総会、クリスマス会
1月12日	さんねっと	13	新年会
2月9日	A-Style	14	カラオケ
3月9日	大寅かまぼこ工場	12	工場見学

余暇支援や日常生活技術の習得を目的としたじゃむの会は、障害者ご自身が活動内容を決め、年間を通じて多くの参加者を得た。

さえらの会

月日	場 所	参加人数	内 容
4月28日	さんねっと	4	抹茶でスイーツ
5月26日	さんねっと	5	大人の塗り絵
6月17日	はびきのホール	7	チャリティーコンサート
7月28日	さんねっと	6	夏スイーツを作ろう
8月25日	ふれあいステーション	3	音楽祭を聞きに行こう
9月22日	さんねっと	3	アイスコーヒーを自分で作ろう
10月27日	さんねっと	5	春巻きの皮でスイーツ
11月24日	さんねっと	4	スクラッチアート
12月22日	さんねっと	5	チーズフォンデュでクリスマス
1月26日	さんねっと	4	書き初め
2月23日	さんねっと	4	お菓子作りをしよう
3月23日	さんねっと	6	みたらし団子を作ろう

さえらの会は室内活動を中心とし、季節に応じた取り組みを行った。

わおんの会(第3日曜日) *9月、3月は休み

月 日	場 所	参加人数	内 容
4月15日	さんねっと	2	歌、紙芝居、カレンダー作り、楽器遊び
5月27日	さんねっと	2	歌、紙芝居、カレンダー作り
6月17日	さんねっと	3	歌、紙芝居、カレンダー作り、楽器遊び
7月15日	さんねっと	3	歌、紙芝居、カレンダー作り
8月26日	さんねっと	2	歌、紙芝居、カレンダー作り、楽器遊び
10月28日	さんねっと	3	歌、紙芝居、カレンダー作り、楽器遊び
11月25日	さんねっと	3	歌、紙芝居、カレンダー作り
12月16日	さんねっと	3	歌、紙芝居、カレンダー作り、楽器遊び
1月20日	さんねっと	5	歌、紙芝居、カレンダー作り
2月17日	さんねっと	4	歌、紙芝居、カレンダー作り、お楽しみ会

障害児の療育活動として、音楽療法や保育の要素を取り入れた制作活動等を行った。

ゆいの会(不定期)

月 日	場 所	参加人数	内 容
3月9日	大寅かまぼこ工場	3	工場見学

保護者支援の一環として、地域の工場見学を行った。

さをり織り(毎月第4土曜日)

回 数	場 所	延参加人数
10	さんねっと	18

4特別強化事業

- (1) 定期会議や情報交換により、法人内事業所との連携を強化しながら、サービス資源の開拓やサービス等利用計画の質の向上を図る。
高井田苑の職員会議への定例参加、入所、グループホームの利用者のサービス等利用計画の作成等により、法人内事業所との連携を強化した。
- (2) 相談支援専門員の育成及び新規利用者確保に努める。
平成 31 年度の相談員増員に向けて、法人内外から人材の育成、発掘に努めた。
新規利用者は4名であった。
- (3) 地域での生活がより充実するよう、社会参加、余暇支援の事業をより充実させるとともにボランティア確保に努める。
広報誌さんねっと通信や法人のホームページにより、余暇活動等への参加を呼びかけた結果、じゃむの会、さえらの会、わおんの会、さをり織り、ゆいの会の各活動で延べ30人程度の利用者増となった。

平成30年度 居宅介護事業等事業報告

居宅介護事業所 さんぽーと

1. 事業概要

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方が地域で生活できるよう、その多様なニーズに応えるため、様々なサービスを提供し自立の促進及び生活の向上を図るべく支援を行った。

平成24年事業開始から徐々に依頼も増え、地域にも認知されるようになってきている。今後もそれに応えることのできるサービス体制の充実と、ヘルパーの質の向上を図っていきたい。

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(時間)
移動支援	29年度	254.0	251.0	210.5	272.5	262.5	288.5	271.5	239.5	242.5	224.0	201.5	309.0	3027.0
	30年度	248	263	236	265	284	258	261	231	267	210	196	233	2948.0
行動援護	29年度	117	120	116	134	139	117	107	109	115	133	92.5	104	1400.5
	30年度	114	112	120	105	113	135	112	126	135	137	134	143	1481.0
居宅(家事)	29年度	34	33	30.5	31.5	23	23	22	20.5	21	20.5	16	19	294.0
	30年度	18.0	18	18	18	20	19	20	19	20	19	20	20	229.0
居宅(身体)	29年度	23	28	26.5	27.5	24.5	23.5	16	18	18	15	15	20	255.0
	30年度	15.0	15	15	17	18	17.5	18	13	16	13.5	14	18	190.0
居宅(通院)	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	30年度	0.0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2.0

2. サービスの種類

移動支援

行動援護

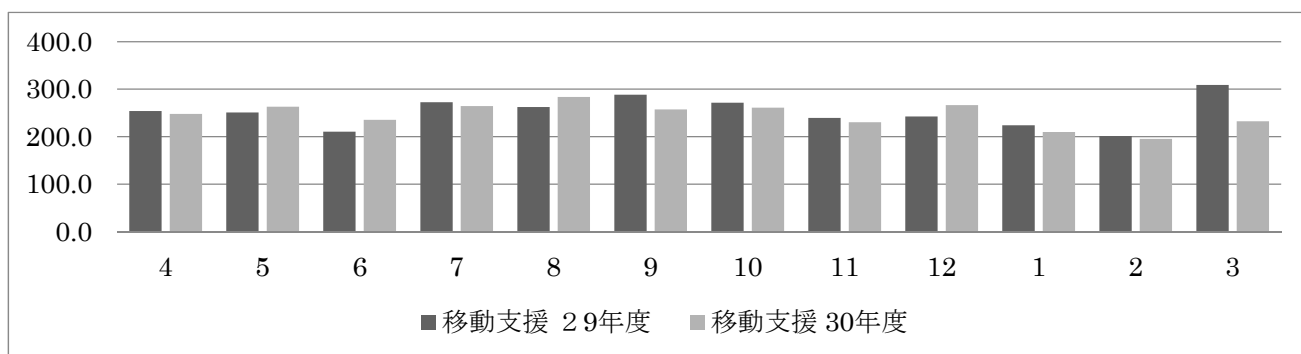
居宅介護(家事援助・身体介護・通院介助)

3. 各サービスの実績

(1) 移動支援

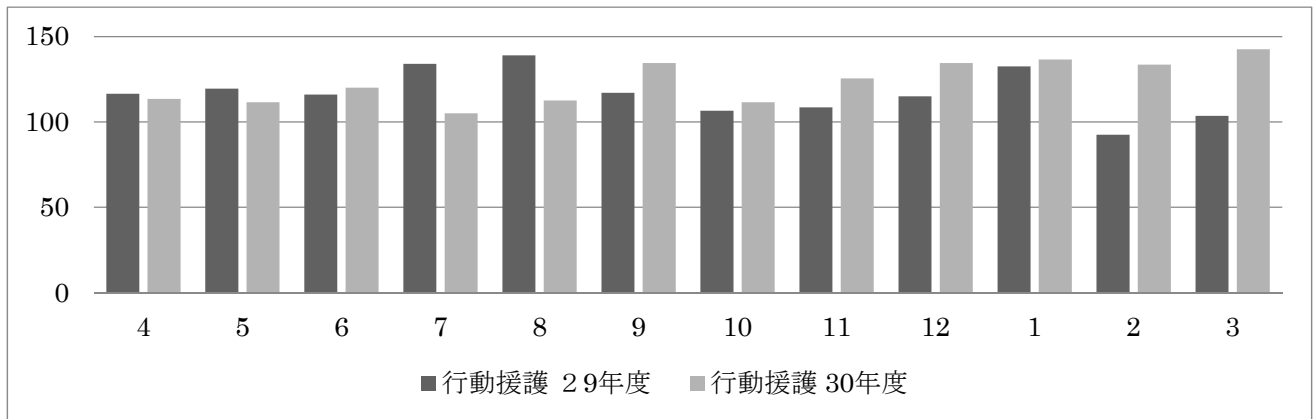
利用時間は若干の減少はあるが、ほぼ横ばい状態である。柏原市以外の他の支給対象者の利用もあ

り、契約者の実数は増加している。



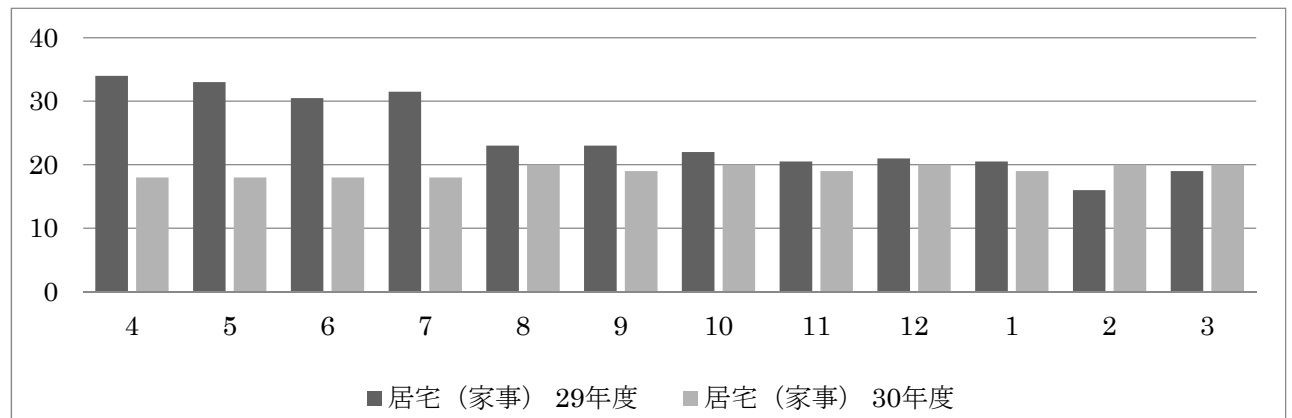
(2) 行動援護

30年度は高井田苑利用者、他事業所からの紹介、移動支援から行動援護への契約変更等も落ち着き、利用者は増加傾向にあったが、30年度はほぼ横ばい状態である。



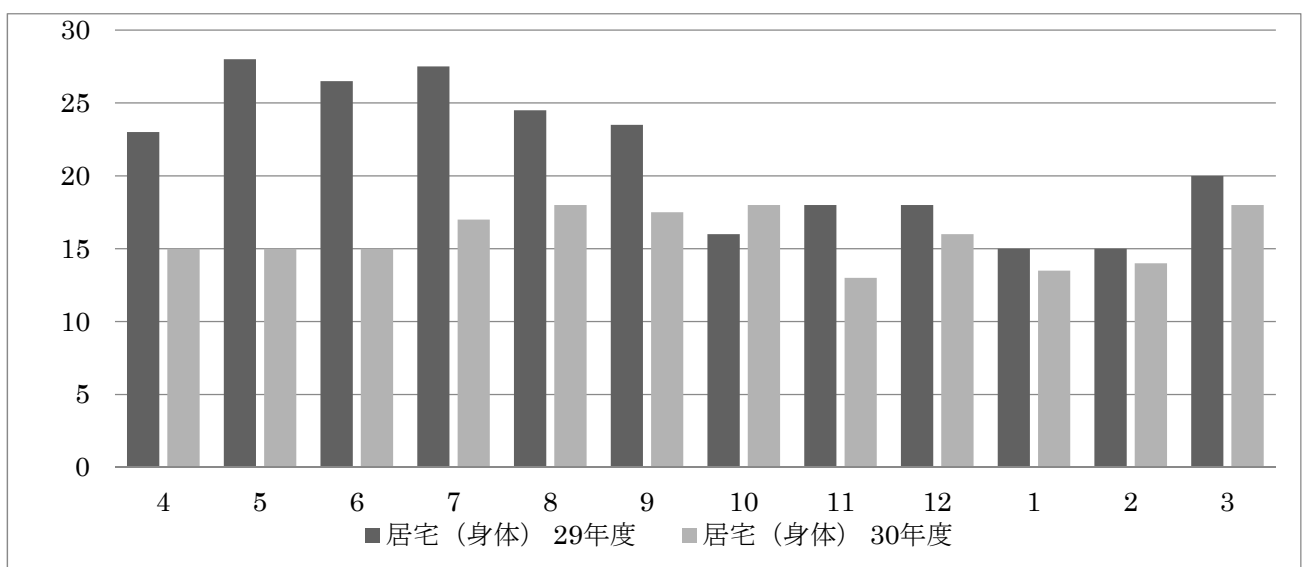
(3) 居宅介護(家事援助)

利用者数、利用時間ともが減少傾向にある。同種の事業所が増えたこともあり、今後とも減少傾向を示すと思われる。



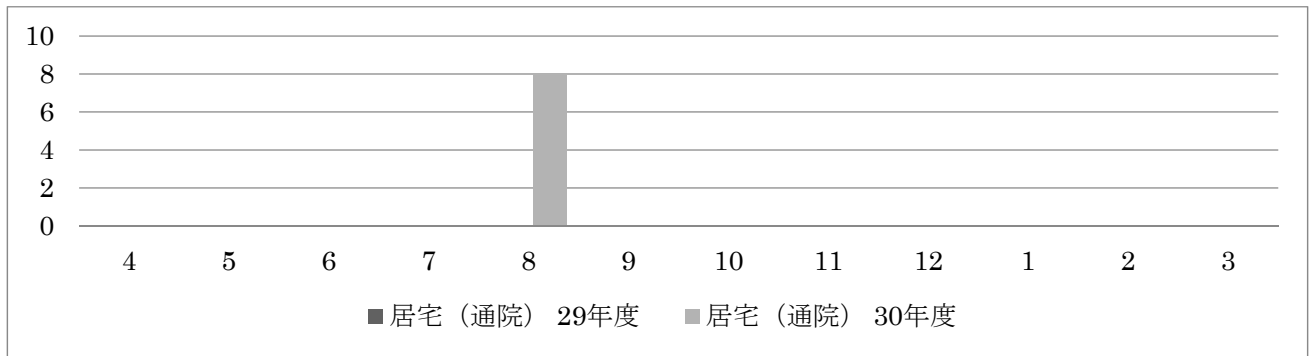
(4) 居宅介護(身体介護)

利用者の転居に伴い総利用時間の実績は減少した。



(5) 居宅介護(通院介助)

8月に1件の利用があるのみであり、今後とも需要は少ないと予想される。



4. 特別強化事業等

法人内の連携を図り、サービス内容の向上を目的として、高井田苑の職員会議への参加、移動支援等の制度説明や利用の案内等を行った。また、人権研修として、現任のヘルパーに対して障害者差別解消法についての研修を実施した。

利用者又はご家族に対してサービスへの満足度調査を実施し、おおむね満足を得ているという結果を得たが、今後もサービス向上のためのアンケートの実施等は継続したい。

※満足度調査の結果別添。